

関中学校だよい

目指す学校像 一人一人の生徒が生き生きと学び活動する学校



関中学校HPにアクセス

✿ 第20号 ✿

令和7年11月20日発行

亀山市立関中学校

文責：堀内

地域、家庭とともに歩む学校 教職員が生きがいを持って働く学校

地域で働く思いと食についての講演・調理実習



11月4日(火)、亀山市の洋菓子店 Amieさんのパティシエ、草河さんに来校いただき、2年生対象に講演と調理実習をしていただきました(公益財団法人三重県学校給食会と共催)。調理実習では、抜き型クッキーと巾着クレープを作りました。彩り豊かな季節のフルーツ、甘いバターの香りなど、調理室にいるだけでとても楽しい気持ちになりました。講演では「お菓子作りを始めたきっかけ」「お店をやっていてよかったこと」などについてのお話もありました。地域の人たちの働く思いや生き様を知ることができ、生徒たちにとって有意義な時間になりました。今後も地域とのつながりを大切にして学校運営をしていきたいと思ってます。ご協力よろしくお願ひいたします。



生徒の感想



Amieの草河さんのお話を聞いて、将来の夢は小さいことで決まることもあるんだなと思った。草河さんは、姉に料理を喜んでもらえてうれしかった経験から、お菓子作りを始めたそうだ。私は将来の夢は決まっていないので、草河さんみたいに素敵なきっかけで将来の夢が決まつたらいいなと思った。また、「失敗したからこそ、そこから学ぶことがある」と言っていたのが心に残った。私は失敗したらあきらめるみたいな感じなので、この言葉を聞いて、「失敗してもあきらめずにその失敗から何かを見つけて、これからのことにつなげていけばいいんだ」と気づかされた。また、亀山にお店を出した理由が、亀山を盛り上げたい、家族と地元に恩返しをしたいというもので、素敵だと思った。

加太小学校創立150周年記念式典での演奏



加太小学校創立150周年記念式典で、本校吹奏楽部が演奏しました。加太小学校出身の吹奏楽部の部員も現在5名います。ウインドアンサンブル関との合同演奏で式典を盛り上げました。オープニングの曲は重厚感漂うすばらしい演奏でした。全員合唱の「ふるさと」では会場の人たち全員が吹奏楽の伴奏で歌いました。とても一体感がありました。加太小学校は、明治12年に創立し、昭和23年当時には、在校生が350名、その後児童数が減少して現在全校生徒は28名となっています。加太小学校から来年関中学校に入学する生徒はいませんが、今後も、加太小学校や地域のためにできることは協力できればと思っています。

じしゅう しつもん 自習タイム・質問タイムについて

関中学校では、全国学習状況調査の生活アンケートで、家庭学習の取り組み時間が少ないという結果が出ています。そこで、期末テスト2週間前から、授業時間を5分間短くして、30分間をテスト勉強や自習勉強に取り組む時間を設けました。初めての取り組みでしたが、生徒たちは集中して勉強ができていました。この取り組みが家庭学習にもつながればと考えています。また、テスト1週間前に設けた放課後の質問タイムでは、多目的ホールに約50名の生徒が集まりました。生徒同士の教えあいや各担当教科の先生に質問ができて、「家で勉強するよりやりやすい」と参加した生徒は言っていました。

11月17日(月)からの3日間、期末テストが行われました。生徒たちは、最後まであきらめずに問題に取り組んでいました。この後、テストが返却されますが、テストの点数だけにこだわるのではなく、自分のできなかつた問題をしっかり復習して、学力の定着を図ってほしいと思います。ご家庭でも、お子様のサポートよろしくお願ひします。



じしゅう
自習タイム(教室で
全員が学習します)

しつもん
質問タイム(希望者が学
習します)

保健給食委員会の取り組み紹介(メディコンウィーク)

保健給食委員会では、テスト期間中のメディアコントロール週間に、取り組みを行っています。保健給食委員会で話し合いをして、メディコンウィークの全校目標を決めました。「勉強した時間=メディア使用時間」というものです。これは、自分が勉強した時間を上限として、メディアを使うことができるという目標です。また、給食の時間に、保健給食委員会が作成したメディアに関する動画を流して、全校生徒がメディアの健康被害や使用方法について考える時間を設けています。内容は「睡眠時間」「ストレー



～メディアの使いすぎによる脳への影響～

- ・脳が疲れる。
(使うことで脳の休む時間がなくなる)
- ・何もしない時間が退屈だと感じる。
- ・考える力や想像する力が弱まる。



- ・スマホやタブレットを使う時間を決めること。
- ・「情報を入れる時間」と「脳を休ませる時間」のバランスを良くする。



トネック」「ブルーライト」「メディアの使い過ぎによる脳への影響」などに関するもので、スライドの作成、音声の吹込みなどを保健給食委員会が行いました。生徒たちがメディアの使い方に真剣に考え、自分事としてとらえる工夫をしました。このメディアコントロール週間を利用して、少しでもメディアと上手に付き合う方法について考えてほしいです。保護者の皆さんも、お子様と一緒にメディアのルールなどについて、再度確認していただけると嬉しく思います。